

～ワクワクwellness～

心身魂のお掃除処



10月20日
八海山
大火渡り祭り



* 八海山大火渡り祭り 目黒講より25名にて参列

お知らせ

- | | |
|-------|----------------|
| 11/23 | 佐賀 コトタマ体験会 |
| 11/27 | コトタマワーク & 護摩祈祷 |
| 11/28 | 当院 護摩祈祷 |

【先日の大火渡り祭の炎を前にして】



ひとつの確信を授かりました。火は内なる光を目覚めさせる。
 山での修行も、滝での行も、
 すべてはこの「内なる火」を見出すための道だったのです。
 けれどその火は、今や外に求めるものではなく、
 わたしたち一人ひとりの胸の奥で、静かに灯り始めている。
 「コトタマを実践する」とは、
 知識や技術を“使う”ことではありません。
 その瞬間の在り方を、音・言葉・行為の中に映すこと。
 呼吸ひとつ、手を合わせる角度、誰かと交わす言葉の響き。
 そのすべてが「いま、この瞬間の在り方」を示す“コト”になります。
 つまり「実践」は特別な行為ではなく、
 日常のすべてが、コトタマの舞台なのです。

● コトタマとは“やり方”ではなく“在る”ことそのもの。

・在り方が整えば(澄んでいれば)、発する言葉すべてが祝詞となる。
 「なんとなく分かっていた」ことが、言葉として輪郭を持った時、
 それはまさに“コト”が“タマ”を得た瞬間。
 感じていた思いが形を持ち、心の中で「そうだったのか」と響く時
 内なる神と、外なる神の波がびたりと重なり、**光を放ちます。**
 その共鳴の一拍こそ、**コトタマが息づく瞬間。**

● 感覚がことばになり、ことばが光になる。

それは、**学ぶ段階を越えた“思い出し”の領域。**
 この感覚を人々が思い出す時、世界は静かに変わりはじめます。
 山での行は「自らを澄ますための道」。けれど今、わたしの行は
 「他者の心に光を灯すための道」へとシフトし始めています。
 外の自然ではなく、人々の内に宿る“自然”を呼び覚ます行。
 それが今、わたしに与えられた役目です。
 八海山大神も仰います。「力を持て」ではなく、“光を分かち合え。”
 佐藤が自らを通して、この地球に「響きを取り戻す」こと。
 それが、神々が言われた「地球を助けてほしい」という言葉の真意
 わたしたち一人ひとりが、やり方ではなく、在り方を意識する。そ
 れを共鳴するのだぞ。と授かりました。

▲ 光は 内にありて 外に満ち
 響きは わたしにありて すべてを結ぶ
 今日もまた 言の葉は 祈りの風となりぬ

コトタマ幸座 公式ライン



眠りから目覚める 佐藤智江 HP



家呑みトモごはん

【やみつきコンコンえのき】 家族で争奪戦に(へへ)

- ①千切り油揚げを乾煎り。フライパンの隅によせ、油をひき
みじん切りニンニクと輪切り鷹の爪を炒める。
- ②①をフライパンの横によせ、3cmに切ったえのきを投入。
- ③えのきがしんなりしてきたら 3cmの青ネギ投入。
- ④醤油・中華スープの素・ごま油で味を整え、完成。

鶏ガラスープの素でもOK